

職業相談・職業評価



- どんな職場や仕事内容だと長く続けられるだろうか。
 - 就職の際に障害のオープン・クローズで悩むなあ。
 - 自分の得意な点、苦手な点を整理したい。
 - 職場の人間関係で悩んでいるんで相談したい。
- ・・・など

◎就職に向けて、センター利用者に対してまずは**職業相談・職業評価**を実施。ご自身のことをよく知るために、面談による職歴や情報の整理、ツールを活用した検査や作業などをします。

◎ご自身の得意な点、苦手な点、職場で配慮が必要な点などを整理するものです。課題のみに焦点を当てずに、「強み」を見つけて、就職の可能性をできる限り模索することが目的です。

- 性格特徴や障害特性は？
- 就職への基本的な準備性は？
- 今までの職業経験は？
- 作業の得意・不得意は？
- 職場で必要な配慮事項は？
- 労働条件や労働環境は？

職業評価の例

各種検査

厚生労働省編一般職業適性検査
性格検査
職業興味検査 など

※各作業がどれくらいできるかどうかだけでなく、集中力・正確性・作業速度・作業で現れる疲労やストレスなどの様々な仕事に関わってくる個人の特性を確認します。
※全員がすべてを実施するわけではありません。

身体を使う作業



事務作業



PC作業



職業相談から職業評価への流れ

職業相談

- 就職の希望条件とその理由の整理（職種・勤務地・勤務時間・収入など）
- これまでの職歴(生活歴)の振り返り→職業上の強みと弱み、考え方の傾向の整理→必要に応じて対応策の検討

各種検査

- 厚生労働省編一般職業適性検査、性格検査、職業興味検査、作業検査、ストレス・疲労に関するアセスメントなど

作業体験

- 模擬的就労場面での作業体験 ※ご本人の状態に合わせてご提案します。
…身体を動かす作業（ピッキング、組立作業、袋詰め、清掃など）
…事務作業、PC入力作業

振り返り

- 検査結果を説明するとともに、作業を体験してみてもご本人の感想を確認し、ご自身の特徴に関する気づきを促します。支援の方向性についても相談します。

支援計画策定

- 職業相談、職業評価の結果やご本人の希望などを踏まえて、今後、安定した職業生活を送るための支援計画を作成します。
- ご本人が同意した計画に沿って職業準備支援やジョブコーチ支援、求職活動支援などを実施していきます。

職業リハビリテーション計画

職業評価を実施した方に対しては、就職に向けた支援計画（今後のプラン）を作成します。

